

東日本大震災復興支援
第67回国民体育大会 バスケットボール競技

MATCH No. 30G4

開催場所: 久々野体育館
試合区分: 成年女子準々決勝
開催期日: 2012年9月30日 (日)
開始時間: 16:40

主審: 岩田 千奈美
副審: 守谷 圭介



Team A	○	20 -1st- 9 19 -2nd- 14 25 -3rd- 19 17 -4th- 14	●	Team B
秋田	81		56	神奈川

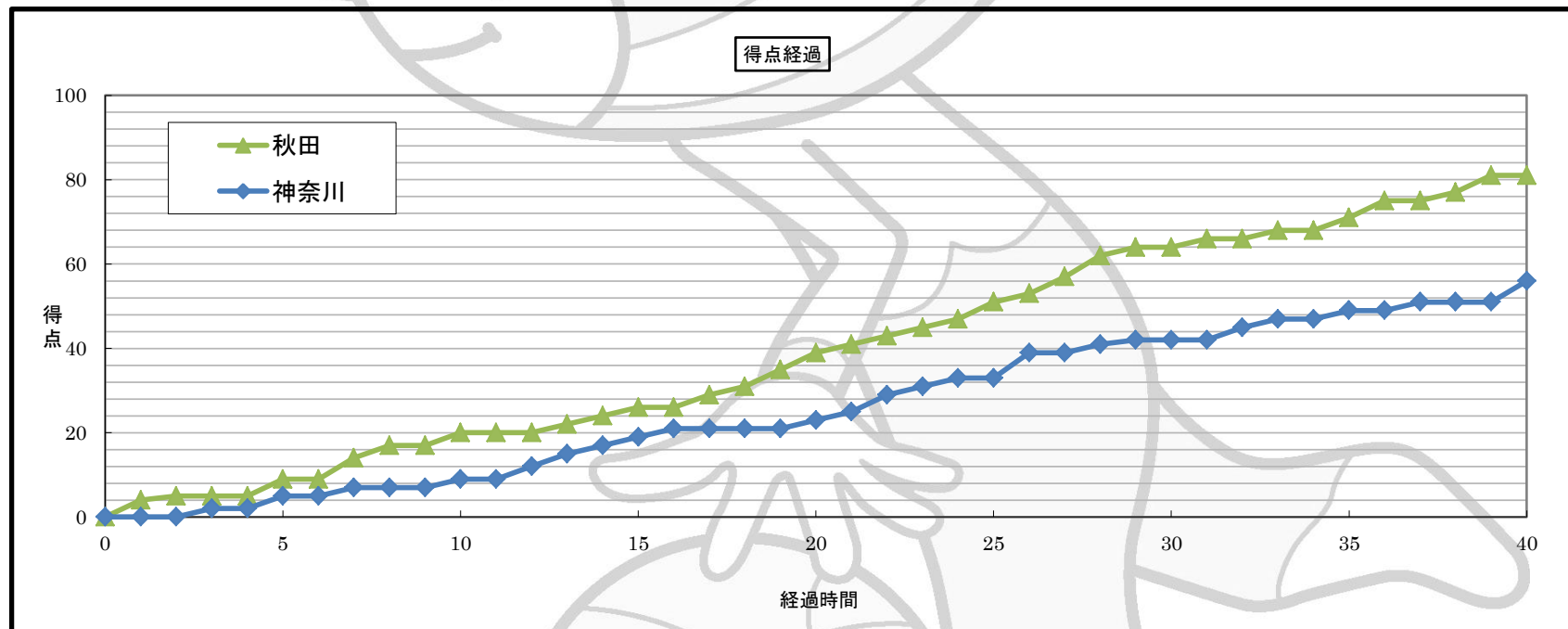
TEAM A		秋田							
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	R	A
4		福司 恵美子	0	0	0	0	1	0	0
5	*	横山 茜理	9	1	3	0	2	2	2
6	*	今 美春	8	0	3	2	0	3	1
7	*	保坂 和音(C)	7	0	3	1	2	4	0
8		渋谷 愛子	0	0	0	0	0	1	0
9		永野 友香里	8	0	4	0	3	4	0
10		加藤 茉奈美	12	0	4	4	0	6	1
11		幸村 朋美	4	0	1	2	1	1	0
12		佐々木 知香	2	0	0	2	2	3	1
13	*	成田 麻沙美	8	0	4	0	3	3	1
14		金 吏子	2	0	1	0	2	4	4
15	*	伊藤 美和子	21	1	7	4	3	15	2
Coach		柴田 直宏					0		
TOTAL			81	2	30	15	19	46	12

TEAM B		神奈川							
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	R	A
4	*	篠崎 滯(C)	11	1	3	2	0	5	1
5		今野 真澄	2	0	1	0	1	0	2
6	*	五十嵐 えり	15	3	3	0	4	4	0
7		荒木 華那	2	0	1	0	1	1	3
8	*	柳瀬 さつき	0	0	0	0	1	3	0
9		川浦 千尋	3	1	0	0	0	0	0
10		加倉井 麻未	3	0	0	3	2	1	0
11		則本 真奈	3	0	1	1	0	1	0
12		小原 みなみ	3	0	0	3	2	3	0
13		河瀬 ひとみ	2	0	1	0	0	1	0
14	*	内野 智香英	8	0	3	2	4	5	0
15	*	錦織 静花	4	0	2	0	3	5	0
Coach		小林 夕紀恵					0		
TOTAL			56	5	15	11	18	29	6

Timeout (経過時間)	1Q・2Q	3Q・4Q	OT1	OT2
	16:22	38:18	-	-

Timeout (経過時間)	1Q・2Q	3Q・4Q	OT1	OT2
	06:12	24:26 34:04	-	-

*:スターター (C):キャプテン PTS:ポイント 3P:3ポイントシュート 2P:2ポイントシュート FT:フリースロー F:ファウル R:リバウンド A:アシスト



両者、試合開始直後から激しいディフェンスでプレッシャーをかける。秋田は、#15の外角シュート、#6の2Pなどで得点を奪う。神奈川は、#4の外角シュートなどで応戦するが、なかなか秋田のディフェンスを破ることができない。1Q終盤には、秋田#10がファウルを誘うプレーで、バスケットカウント、フリースローで得点を伸ばし、20-9と秋田11点リードで終了。

2Q、神奈川が反撃する。神奈川の#5のパスから#6の3Pが2本連続で決まり、開始3分で22-17の5点差に追いつく。秋田は、オフェンスリバウンドを何度も取りチャンスを広げるが、得点に結びつかず点差を広げることができない。神奈川は、#4のリバウンドからのバスケットカウント、ドライブイン、#4のパスから#13の2Pなどでペースをつかんだかに見えたが、残り5分を切ったところ、秋田#15のバスケットカウントから勢いに乗る。神奈川を4分間ノーゴールに抑える。オフェンスでは、秋田の#7のゴール下、#9のリバウンドシュートなどが決まり、リードを一気に広げる。39-23と秋田が16点リードで前半終了。

3Q、秋田は#7のインサイドプレー、#15のドライブイン、#5のリバウンドシュートなどで点差を広げる。神奈川は#15のリバウンドシュート、ミドルシュート、#14のミドルシュートなどで応戦するが、点差はなかなか縮まらない。残り5分、秋田の#15の連続得点などで突き放しにかかるが、神奈川も#6、#10の3Pで食らいつき、53-39と秋田が14点リード。残り3分からは、再び秋田のペース。厳しいディフェンスでミスを誘い、得点を簡単に入れさせない。秋田の#13、#9のミドルシュートなどが決まる。神奈川#10、#12のドライブインからのフリースローなどで食らいつく。残り1分は、両者の激しく徹底したディフェンスで両者ノーゴール。ここで、64-42と秋田22点リードで終了。

4Qに入っても両者、ディフェンスの手を抜かない。神奈川は外角シュートを狙い点差を縮めようとするが、その差は縮まらない。反対に、秋田の#7のバスケットカウントなどでさらに点差を広げられる。神奈川は、#6、#14が果敢にリバウンドに飛び込み、チャンスを作り、ディフェンスでもオールコートで当たるが、得点に結びつけることができない。そのまま、試合は終了。81-56で秋田が25点差をつけて準決勝にコマを進めた。リバウンドを一試合通して制した秋田の勝利であった。

記載責任者 寺内 政治郎 (所属) 岐阜県バスケットボール協会